

八雲の「怪談」世界へ発信

【松江】文豪・小泉八雲 谷町、小泉八雲記念館で始
 (ラファディオ・ハーン、 まった。代表作の「怪談」
 1850～1904年) が をテーマに作家それぞれの
 幼少期を過ごしたアイルラ 視点で仕上げた作品が幽玄
 ンドの芸術グループによる な世界を伝えている。

アート展が27日、松江市奥 企画展はアイルランドの

作家でつくる「ブルー・ム
 ーン・プロジェクト」が記
 念館に提案して開催。アイ
 ルランドと日本を拠点に活
 動する総勢40人が版画や写
 真計40点を出版する。

作品は「怪談」に収録さ
 れている物語を作家自ら選
 んで制作。目や鼻、口のな
 い顔の女性が登場する「む
 じな」を題材にした複数の
 作品のほか、5人の幽霊の
 頭から生える髪が複雑に絡
 まっている様子を描く「ろ
 くろ首」などが並ぶ。

セレモニーで芸術グルー
 プのステイフン・ローラ
 ー代表は「ハーンの名前と
 文化的名声が世界中で注目
 されるのが最大の目的」と
 あいさつした。アイルラン
 ドのデミアン・コール駐日
 大使は、八雲の作品が両国
 の交流にとって重要だとし
 「松江とのつながりを大事
 にしたい」と話した。

9月24日まで。会期中は
 無休。午前8時半～午後6
 時半(入場は午後6時10分
 まで)。入館料は大人41
 0円、小・中学生200円。

小泉八雲の代表作「怪談」をテーマにした作品に見入る
 関係者＝松江市奥谷町、小泉八雲記念館

